

お釈迦さま

道元さま



瑩山さま

しょうごう
聖号

なむほんししゃかによらい
南無本師釈迦如来

そうとうしゅう
曹洞宗は、
お釈さまと道元禅師・瑩山禅師を
一仏両祖として仰ぎます。



QRコードを
読み込むとお
唱えの一部を
聴くことがで
きます。

——仏さまからのメッセージ——

人は幸せを願って生きています。しかし、誰しも悩み、
悲しみ、苦しみを体験しない人はいないでしょう。そうし
た時に心を支えてくれるのが、梅花流詠讃歌です。その歌
詞には私たちが安らぎの世界へと導いてくださる仏さまの
教え、想いが示されています。



梅花流詠讃歌



追弔御和讃

新亡精霊供養御和讃



曹洞宗

ばいかりゅうえいさんか そうとうしゅう えいか ぶっさんか
梅花流詠讃歌は曹洞宗のご詠歌(仏讃歌)です

問い合わせは、曹洞宗宗務庁伝道部詠道課まで。

03-3454-5416

<http://www.sotozen-net.or.jp/>



ばいかくん

追弔御和讃

(一) その名を呼べばこたえてし

笑顔の声はありありと

今なお耳にあるものを

おもいは胸にせき上げて

とどむるすべをいかにせん

溢るるものは涙のみ

(二) 立ちては昇りのぼりては

哀しく薫ゆる香の香に

かずかず浮かぶ思い出よ

供えし花はそのままに

霊位の座をばつつむなり

清きが上に清かれと

(三) 一世の命いただきて

会うことかたき勝縁をば

夢幻となどかいう

うつつの形は消ゆるとも

うつろうものか合わす掌に

契りて深き真心は



新亡精霊供養御和讃

(一) 永遠の身命と願えども

無常の風にさそわれて

愛惜みて散れる花なれば

別離の涙 頬つたう

(二) 揺れる灯明 あ的笑顔

あなたに逢えたよろこびと

深い絆に結ばれた

煌く慧命 忘れ得ん

(三) 香華供えて調す身に

想いはおのずと深まりて

安寧念う祈りこそ

蓮の開く縁なり

(四) 七七供養の毎日に

戒名を称えて掌を合わす

行持むる而今のまごころを

回らし手向けんみほとけに

回らし手向けんみほとけに

